

マリアン 会報

発行 ノートルダム女子大学同窓会

同窓会20周年を迎えて



ノートルダム女子大学学長

シスター・メリーマイクル田代

この冬は記録破りのお寒さが続きましたが、卒業生の皆様お変わりなくいらっしやいましたでしょうか。

さてノートルダム女子大学もこの三月に第二十回目の卒業式をむかえました。第一回の卒業式のこと、が今もごく最近のことのように思い出されふた昔のことと信じられないほどです。

この二十年間に日本でも世界でも驚くほどさまざまなことが起りました。ノートルダムも時代の波にもまれながら今日まで歩み続けてまいりました。これもひとえに神の限りない御いつくしみとノートルダム、即ち、キリストの母マリアの温いご保護の賜物であり、恩人の方達さらに関係者全員の力強い知恵があったからこそと、深く感謝しております。

卒業生の皆様は日本各地をはじめ、国際化時代を反映し世界各地に存在されておりますが、それぞれ社会人として母や妻として、立派に活躍していらっしやることを私はいつも嬉しく頼もしく思っております。

皆様、どこにおられようと皆様の心の故郷である母校でもとされた愛の灯を燃やし続けて下さい。

皆様お一人お一人の存在が世の光、地の塩となることを私は心から願ってやみません。

祝御入会

本年度は、英文科二一七名生活文化科七四名、計二九一名が、三月八日に御卒業になりました。同時に第二十期の同窓会員となりました。御入会を歓迎いたします。

これで同窓会の全会員数は四〇四八名となりました。

第二十期生の学年委員は、左記の方をお願いします。

○英文科 浅井 成子
若山 純子
○生活文科 谷畑 宏美



マリアン スカラシップ

五十八年度のマリアンスカラシップ受賞者は、左記の優秀な三名に決定いたしました。各々に、年額二十万円を同窓会より授与いたしました。

○英文科 国松 昌代
若山 純子
○生活文科 畑 文晃

“おねがい”

●今年も十一月の大学祭に同窓会がバザーを行うことになりました。皆様より御寄贈して頂く品物がございましたら同窓会宛にご郵送下さい。
(書物・日用品・衣類等何れの品物でも結構です)
●来年度は新名簿を完成させる予定です。住所・氏名御変更、又不明のお友達の住所を御存知でしたら、必ず葉書にて本部までお知らせ下さい。御協力お願いいたします。

同窓会

二十周年

オメデトウ



石田 幸太郎

ノートルダム女子大学に第二十回目の卒業生が生まれるということは、その同窓会が第二十年度を迎えたということ

を意味する。誠に慶賀に堪えぬことである。換言すれば、ノートルダム女子大学が創立

されて以来二十四年が経ったということであり、その創設に参加した私にとっては感無量の思いを禁じ得ない。しかも大学が順次発展して今日の



シスター
テレサ・マーガレット

大を成し得たということは稀に見るケースで、その充実ぶりには目を瞠らせるものがある。この上は卒業生達が相互に親睦を深め、卒業生の研究論文などもあれば会報で発表するなどし、又、教師と卒業生との間がより円滑になり、古参の卒業生と新参のそれとが融和してゆき、同窓会が増々発展されんことを祈る。

同窓会二十周年、おめでとうございます。

これを書く機会が与えられましたことを感謝しながら、筆をとらせて頂きました。

人は勉強し続けることによって成長いたします。ですから、あなたの周りにある多くのものの中から何かを選び、心や精神を価値あるもので満たすようにしましょう。それは自分の生活を豊かにし、同時に、人にもそれを分かち合うことになります。

次に、この世界をよりよいものにするため、あなたの能力、機会を使ってください。貧しい人、虐げられている人や社会の底辺に生活している人のために、心からの奉仕をするのもよいでしょう。

「だれもかれも、偉人といわれる人の後ろには女性がいる」といわれていますが、国を背負って立つ人の背後にあって、靈感を与えることの出来る女性になってください。最後に、愛することを学んでください。だれかを愛するとは、その人が生きるよう命じることであり、成長するよう促すことであるのです。必要とされる時、何時もそこに

いる女性、自分を犠牲にする利己心のない女性、優しく世話する女性になってください。神の祝福、平和、幸せが皆様の上にありますように。

卒業生より

ひとこと

一期生

所 明子(荒川)

来年で第一期生は卒業後二十年を迎えます。大学卒業までの二十余年を親の庇護下でしかモノトルダムという温室の中で受身で育った人生の第一

段階とすると、この二十年は巢立った後、五里霧中の状態で自分の家庭作りに専念した第二段階であつたと思います。現在はその次の段階への過渡期だと思うのですが、世は情報化社会に入り、生活自体が変貌しつつあり、科学や医学の発展で、寿命は延び、高齢化社会になるにつけ、我々女性世の動向に着目し、精神的自立をして、生き生きと有意義で生甲斐のある生活をする努力をせねばならないと考えています。新しい情報には大いに興味を抱き、吸収して、後は不言実行を心掛けています。とはいえ、過多気味の情報の中で、如何に取捨選択して、アイデンティティを失わずに過すかも重要な課題だと思ひます。その上、母校の「徳と智」のモットーを忘れず、お互いに愛を持って助け合い、一步一步前進して、次の段階を終える時に、充実した時期であつたと喜べる様になれればと願っている今頃です。

最後になってしまいました。が、同窓会の今後の発展をお祈りいたします。

一期生

菅井郁子(藤井)

同窓会二十周年おめでとう
ございます。

春が戸口まで来ているのに
北陸の冬は長く、やつと消え
た雪が再び降り今朝は一面の
銀世界、青空の恋しいこのご
ろです。

もう卒業して二十年になる
のですね。一年一日の如く過
ぎ去り、三才と四才半の息子
達と共に経験した二年余りの
サンフランシスコ生活、二十
日間の船旅での帰国、私達の
家が持てた事等色んな事があ
りました。そして今は子離れ
期(四月より高田と高一)、家
事万端そして主人の手伝い、
(学会、論文、講義の原稿整
理とパソコン入力)、来客の食
事接待、自分の事では戸塚刺
繍を習う事、教える事、ヨー
ガが週一回づつ、あとは刺繍
作品制作と八十坪程の芝庭と
草花の手入れ等です。

内灘は近年医科大学を中心
として開発が進み人口も二万
に達し、スポーツと福祉の町

として地域活動も活発である
反面、古い土地の人々と他か
ら移り住んだ人々との間にも
色々な問題を抱えているので
少しでも役立てばと、地区の
婦人会の役や公民館の役、及
び婦人会や老人会の方に料理
やお菓子作り、リフォームを
中心とした洋裁、人形作り等
手芸を教えたり、内灘町商業
調整協議会の消費者側として
の手伝い等ボランティア的な
事をしています。特に人と人
との出会いを大切に、一度の
人生精一杯経験したいですね。
又、休日はたいてい家族揃っ
て夏は海、冬は日帰りスキー
と大いに自然を満喫していま
す。忙がしく活気ある毎日を
送って、大学時代習った事が
すべて血となり肉となってい
る様な感じですよ。

四期生

田中宣子(石原)

いわゆる「青春時代」を熱
を込め、悔いなく過した筈な
のに、あきらめ悪くまだ青春
に生きているつもりで、自
分の情熱を傾けるものがある

限り、今日より明日」と時の
充実を望む限り、私は青春ま
っ只中。一つの義務と感ぜら
れた勉学は、今は趣味、大学
の聴講で学生と席を並べてい
ると心が弾む。いつの日か大
学院に挑戦したいという、人
に笑われそうな想いが浮かぶ。

六期生

北川素江(遠島)

好きとはいえなかつた英語な
のに、今は私の生活の大部分
を占める。寺小屋風のささや
かな英語塾で、熱っぽく教え
る自分に驚く。そしてもう一
つの趣味、娘にやらせたいと
門を叩いた「なぎなた」の道
いつの間にかやら私の方が夢中。
姿勢も凛々しく「メン！スネ
！」とお腹の底からの発声の
おかげで、娘を叱る声も堂々
たるもの、重い防具をつけて
も結構飛び回り「我輩は牛若
丸の生れかわり」と意気がつ
てみたり。奥の深い武道と、
これまた果てしなく学ばねば
ならない英語、つまり文武両
道を目指したい、なんてお
恥ずかしくも思っている。で
もお堅いばかりじゃないつも
り。こども文庫を開いて「本
のおばさん」を自称したり、
やりたいことばかり。あれ
もこれと気があせるのは、

私が卒業しました十二年前
頃は、職業に就く事が歓迎さ
れませんでした。大学の求人
欄もお粗末な物で、積極的な
行動を取りにくいような状況
でした。が、私は秘書、ガイ
ド、海外添乗員を経て、現在
は東急ホテルにて外国人のお
客様のトラブルを解決するた
めのお手伝いをしております。
色々な仕事を通して様々な人
間を知り多くのことを学びま
した。

この頃よく考える事がある。
それは、人間、一度志した事
は、大なり小なり実現すると
いうことである。私は女学院
を高校受験した際、志望動機
のひとつに、「将来、教師に
なつて同胞の子ども達を教え
たい」
と答えたのを覚えている。
しかし、十五・十六の子娘に
そのような大それた確固たる
決意は、まだなかつた。それ
でも運命とはおもしろいもの
で、現実には教職過程に進み
教育実習へ行き、そして遂に、
高校面接で宣言した通り、今、
私は同胞の子ども達を教えて
いるのである。
他人からみれば、なんと幸
運だと思われるかも知れない
が、当の本人としては狐につ
ままれたような心境である。
だが、ぼやぼやしている暇も
なく、今度は、人が人を教え
るという難しさに当面してい
る、幸いにも、これまでに数
多く出会うことのできた素晴

十九期生

黄 美香



20周年 (59年度)

総会への御案内

しい先生方の姿勢を頭の中に
思いうかべながら、せめて一
歩でも近づこうと日夜励んで
いる毎日である。最後にこの
場をかりて、私の大それた宣
言を、心に留めて下さったシ
スター・メリー・キャサリン
に、私の近況を御報告したい。
京都韓国中・高校教師

五十九年度

総 会

日時 五月二十七日(日)

十二時～三時

(十一時半受付開始)

場所 ロイヤルホテル

(中京区三条河原町上ル

四二二三一三三四)

会費 大人 五〇〇〇円

子供 一〇〇〇円

ベビーシッター付

ヴァイオリン演奏

尾花輝代允

伴奏 尾花 扇

尾花輝代允

プロフィール

シ・グレラ、海野義雄等に
師事、昭和五十年東京芸大
ヴァイオリン専攻科を首席
で卒業、同年京都市交響楽
団にコンサートマスターと
して入団、五十八年八月よ
り読売日本交響楽団コンサ
ートマスターに就任、いま
や我が国トップクラスのコ
ンサートマスターと評され
ています。

本年の担当学年より

ひ・と・こ・と

風薫る爽やかな五月となり
ました。本年の総会は三期生
が担当することになりました。
去年の担当学年の二期生に負
けないようにと、ゲストは素
晴しい御夫妻を東京からお招
きする予定にしております。
高校生をもつお母様から、こ
の春卒業された若い社会人ま
で、ぜひ総会にいらつしやい
ませんか。それぞれの立場を
忘れて、懐かしいシスター・
先生達との楽しいひとときを
お過ごし下さい。尾花輝代允氏
の洒落たお話を交えながら、
お馴染みのクライスラーの小
品等を御期待下さい。
皆様、同窓会二十周年の記
念すべき総会におさそい合わ
せの上、多数御出席下さい。
特に三期生の方達は御出席下
さり、総会を盛大にするため
に御協力下さいませ。



シスター

セリーン

だより

大自然が目覚める朝の四時
頃、主婦たちは、かめを手に
水汲みにでかけ、火をおこし
て湯を沸かす。こうしてネパ
ールの一日が始まる。深い霧
の中をさくさくと霜柱をふみ、
ショールに身を包んで六時過
ぎに教会へ行く。ミサ後、太
陽の光が注ぎ始める。九時頃
には、縮まっていた野菜が背
伸びをする。日差しはまばゆ
く、日溜まりは春のように暖
かで快適。夕日に映えるヒマ
ラヤの連山は、着重ねた白衣
を茜色に染め、神秘的な莊嚴
美を見せる。その輝きが夕や
みに包まれると、幕がおりる
かのように日が暮れ、静かな
夜が訪れる。空は暗く、星が
輝いて人々の眠りをやさしく
見守る。こんな自然のリズム
の中で、私は昨年十二月二十
三日より三週間、ネパールで
シスターたちと共にすごしま
した。
去年の七月、ネパールに派
遣された四名のシスターは、
ネパール語を学び、二月から
セント・メリー校で教えてい
ます。文盲率八十%の国での
教育使徒職の第一歩をふみ出
しました。とは言うものの、
その土地の人の心を心とし、
郷に入るのは容易ではありません。
恵みなしに、神の業へ
の参与や、ヒンズー教国での
私たちキリスト者の存在はあ
り得ないのです。信頼と賭け
のみと祈りつ、学ぶことの
多い新たなチャレンジを感じ
ながら帰国しました。



同窓会各種講習会案内



P・H・P・の講読

講師

シスター・セリーン

毎月第三月曜日

午前十時半～十二時

申し込み先

金井 陸子

P・H・Pのクラスでは、シスター・セリーンを先生に、月一回、約六ページ位の記事を十人程の生徒が適当に区切って訳していきます。家で予習をしている時にはぼんやりとか訳せなかったところも、シスターの御指導のもと、成程と理解できるようになりました。

卒業して以来、英語に接するのは十数年のブランクがあり、最初は気おくれしましたが、子供も中学生となり、英語が始まりましたので、親子ともども同じ教科を勉強できることはとても楽しいものです。日常生活から離れて、普段使わない脳の部分をフル

回転させ、なごやかに楽しく過ごしています。卒業しても又母校で、このような機会を与えられ、感謝しております。

宮井順子（三期生、井筒）

文学講読

講師

シスター・シャロン

各週木曜日

午前十時半～十二時

申し込み先

高木 里美

同窓会の英文学講読クラスは、五年前にアメリカの姉妹校から訪問していらしたSrモiraのクラスから始まりました。最初はSrセリーンの御尽力で、約三十人の元女子大生が、久しぶりに外人による英文学のクラスに出席し、いたく勉強心をかきたてられ、クラスを続けて行くことになったものです。その後は主にSrテレサメリーの御指導で、この五年間に読んだ短篇は十数篇に及び、常時受講者は、十人二十人となっています。

学生時代には読みとれなかった小説の行間を、多少の人生経験に照らして考えてみると、意見を交換し合えるのは嬉しく、何よりも試験に脅やかされることなく勉強できるのは楽しいことです。又、英語の能力にはあまり関係なくクラスに参加できるのも魅力の一つです。今回から講師はシスター・シャロンにおねがいしました。

中島克子（一期生、長谷川）

英会話

講師

シスター・ジーン

各週火曜日

午前十時半～十二時

申し込み先

西村 晶子

月二回、中学英語ひっさげで懐しの大学へ。高度な英語をペラペラ話され「アレレ？」の毎回のクラスでしたが、心優しい先輩方々に励まされ、生活文化卒の私も何とか三年程続けられました。同類頃が増えることを心待ちにしてお

ります。先礼、先礼、素晴らしい英語人が来て下さればと思っております。ANYWAY楽しいクラスですぞ！

池淵律子（六期生、石原）

造花

講師

大村 花子

毎月第三水曜日

午前十時半～十二時

アートのフラワーのクラスに私が出席させていただくようになったのは昨年の五月からです。何をしても不器用な私に果して作れるものかと、恐る／＼同った最初の日から、大村先生のやさしいご指導の下で美しいお花が作れて、しかも同窓生の皆様と和気あい／＼におしゃべりも楽しめる雰囲気は一辺に魅せられてしまいました。男の子ばかり三人の殺風景になりがちな我家も、この一年間で次第に華やかなお花が増え、とても嬉しく思っております。

林寺真智子（五期生、浮田）

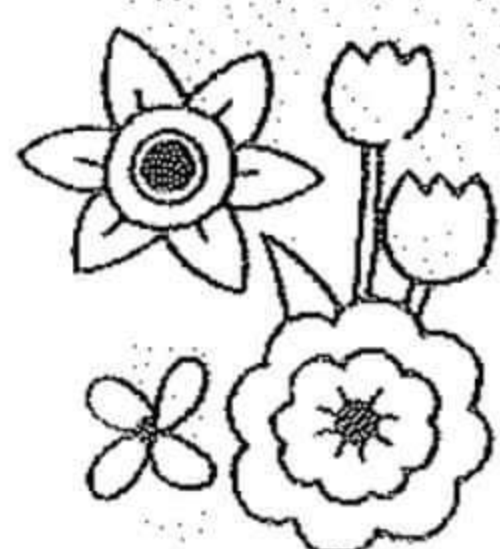
卒業生の皆様へ!!



卒業生の皆様いつも御協力ありがとうございます。私達が計画しておりますインドの子供達救済事業も着々と発展してまいりました。しかし、インドの子供達の栄養不足と無教育を立て直すにはまだ資金が必要とされます。毎月二千円のスポンサーだけでなく、一回でも、少しでも構いませんから御援助をお願いいたします。アメリカ人の援助を得て、京都にノートルダム学院が出来ました。今日幸せに暮している私達もその感謝の気持ちをインドに返していただけたらと、再度お願い

いたします。そしてスポンサーの皆様には心よりの感謝とお幸せをお祈りしています。

シスター ジーン・ジュニット



関東支部便り

支部長

川嶋昌子(元持)

会員の皆様、お元気に活躍のことと存じます。

関東支部では、昨年十一月十七日、横浜高島屋ロースルームにて同窓会を開催しました。学長様、シスターセリーン、阿部先生、西岡先生及び本部役員の方々をお迎えし、盛大に行なわれました。早いもので支部も正式発足してより八年が経ち、年々参加人数も増え、昨年は六十四名の出席を頂きました。懐かしい顔を見つけてあちこちで話の輪ができ、とても楽しい一日でした。

尚、今年度より役員が四回生の代になりました。関東支部創立当時にも何年か学年幹事を努めさせていただきましたが、今回は任も重くいささか心配ですが、他の役員の方々と力を合わせて、秋の同窓会開催に向けて頑張っております。りたいと思っております。

新役員

副支部長 木村 和子(東平)
会計 浜野紀美子(津田)

一九八三年度

活動報告

●六月一日にマリアン・スカラシップを授与しました。

●今回より十万円から二十万円にアップしました。

●次の四回生の方も頑張っており、優秀成績者に選ばれてほしいと期待しております。

●食べ歩き会

第一回食べ歩き会は、十二月十二日、岩倉にあります松野抱楽亭で催され、十一人が参加いたしました。素晴らしい器に美味な和食会席、会費も三千六百円とお手頃な値段で一同楽しい一時を過ごすことができました。ずいぶん昔の話に花が咲いておりました。

●次回は紅葉の季節に予定しております。皆様是非御参加下さい。

●長い間講読のクラスの講師をして下さったシスター・テレサ・メアリーが二月末に帰国されました。素晴らしい講義

をして下さり、本当にありがとうございました。次のシスターシャロンも御期待下さい。

●十一月三日の大学祭における同窓会のバザーは大盛況のうち、午前十一時迄には売切れました。以益金三万円を大学に寄付しました。

編集後記



マリアン十四号、如何でしたでしょうか。希望や不安といった中で、少しでも良い会報をと、頑張っては見ました。が……

この一年を通じて会長を中心につたないながらも役員一同努力してまいりました。しかし何とかここまでやってこられたのは、先輩の御指導や会員相互の協力のおかげだと思っております。

感謝の意と共に、今後の同窓会の発展を願う後記といたします。